



明峰

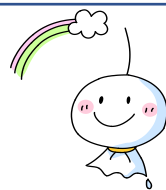
令和7年5月14日

第3号

校長 岡野利男

※願いは、ただ一つです。

毎日、祈り続けています。



体育大会に思うこと

昨日は、体育大会総練習の日でした。当日のスムーズな進行について、あるいは、競技の安全性について、課題を明らかにし対策を講じるという総練習の目的が、十分に達成された日となりました。

同時に、改めて中学生、特に中学3年生の力を実感した一日でもありました。私は、本校生徒たちとまだ1か月ちょっとの付き合いです。「成長した」など知ったようなことは軽々に口にはできません。それであっても、日に日に自覚が高まり、自分たちがリードするこの体育大会を大切に創りあげようとする姿勢が感じられた「とき」でした。

やや、かたい話になりますが、文部科学省がつくる国の教育基準である【学習指導要領】には、体育的行事の意義として「規律ある集団行動の体得」「運動に親しむ態度の育成」「責任感や連帯感の涵養」「体力の向上」を列挙しています。本校もこのために則って、体育大会の目的を定めています。

ただ、ここには明記されていないけれども、体育大会という行事には、「自分なりの挑戦とその見守り」というかけがえのないものがあると思っています。どの子も、自分なりの目標を掲げ、自分なりに必死に努力する。ご家族の方は、去年の我が子、小学生の時の我が子を思い出しながら、今、目の前の必死な我が子を見つめる。教職員もしかり。いつも仲間を鼓舞していたこの生徒、やる気のなさそうな顔をしていたあの生徒、その必死さに感極まる。それが体育大会なのだと思います。

体育大会が嫌な子だっています。走るのが苦痛な子もいます。だから、「自分なりの挑戦とその見守り」を大切にしたい。運動場という場で、多くの人から見守ってもらう体育大会にしたい。日曜日の天気は心配ではありますが、まだ、あきらめておりません。

保護者の皆様とともに祈りたいと思います。



※3年生のソーラン節、あまりに見事でした。

さて、かれこれ10日間ほど、週間天気とにらめっこしていますが、なかなか厳しい予報が続きます。

現段階では、このように考えています。

① 態度決定を2段階で設定します。

第1次態度決定は、前日17日(土)17時です。

※日曜日の雨の確率が高い場合は、この時点での「延期」の判断もあり得ます。

第2次態度決定は、当日18日(日)6時です。

※お昼の用意等で迷惑をかけてしまいますが、この時点での態度決定となる可能性が高いと思います。ご理解ください。

② 予備日は、20日(火)です。以降順延します。

※この数日、来週の週間天気予報はコロコロ変わっています。つまり、来週も予断を許さない状況のようです。20日(火)が実施不可能ならば21日(水)実施という形で順延いたします。

「一本の傘を3年間使える中学校」

この言葉は、4月のはじめ、本校職員に示した私の思いです。一本の傘を3年間使うのは、現実的にはかなり難しいことかもしれません。強風に壊れたり、街中で心無い人からとられたり…。

それでも、この言葉を大きな目標としたいです。

○親御さんから買ってもらった一本の傘を大切に使い続ける中学生に。

○誰かの傘を傷つけないように、「傘バンド」できちんと留めた一本が並ぶ優しい傘立てに。

○もし、誰かの傘がなくなったら、みんなで一本の傘を探す温かい集団に。

体育大会当日は、雨はご遠慮願いたいのですが、これから雨が多くなる季節に突入することはやむをえません。どうか、ご家庭でも、「一本の傘を3年間」を意識していただければと思います。

